

日本貸金業協会北海道支部

1 相談等受付状況

令和4年度の多重債務関連相談は、「貸付自粛制度」に関する相談・問い合わせなどが3,717件(前年度対比+188件、+5.3%)と最も多く、次いで返済困難等に関する相談が、1,339件(前年度対比+172件、+14.7%)でした。ヤミ金融・違法業者に関する相談は194件(前年度対比-110件、-36.2%)と前年度より減少しました。

単位:件、% 上段:全国 下段:道内居

区分	H30	R01	R02	R03	R04	本年9月末	04/30比
相談	一般相談	5,232	4,872	4,187	4,107	4,053	2,041 ▲22.5
		217	207	281	151	134	65 ▲38.2
	多重債務関連相談	6,960	6,275	4,432	5,000	5,250	2,939 ▲24.6
		346	278	141	237	191	120 ▲44.8
	業者窓口案内(誤認)	9,484	9,109	7,623	9,260	7,997	4,390 ▲15.7
	300	316	302	363	263	139 ▲12.3	
相談計	21,676	20,256	16,242	18,367	17,300	9,370 ▲20.2	
	863	801	724	751	588	324 ▲31.9	
苦情	26	20	19	9	7	11 ▲73.1	
	0	1	0	1	0	0 #DIV/0!	
紛争	10	4	6	1	5	3 ▲50.0	
	1	0	0	0	0	0 ▲100.0	
合計	21,712	20,280	16,267	18,377	17,312	9,384 ▲20.3	
	864	802	724	752	588	324 ▲31.9	

		R01	R02	R03	R04	割合	前年度対比	
							増減	増減率
多重債務関連相談	貸付自粛・本人	1,907	1,262	1,448	1,494	28.5%	46	3.2%
	貸付自粛・本人以外	2,859	1,829	2,081	2,223	42.3%	142	6.8%
	小計	4,766	3,091	3,529	3,717	70.8%	188	5.3%
	返済困難	1,168	993	1,167	1,339	25.5%	172	14.7%
	ヤミ金融等	341	348	304	194	3.6%	▲110	▲36.2%
	計	6,275	4,432	5,000	5,250	100.0%	250	5.0%

単位:件、%

2 貸付自粛制度

①定義

資金需要者(ご本人)が、自らに浪費の習癖があることなどの理由により、貸付の自粛の対象とする旨の申告又は成年被後見人等が、当該資金需要者を貸付自粛の対象とする旨を本協会に申告し、本協会がこれを個人信用情報機関3社(株)JICC、CIC、KSC)に登録するものです。

②全国銀行個人信用情報センター(KSC)との連携

単位:件、% 上段:全国 下段:道内居住者

区分	H30	R01	R02	R03	R04	本年9月	04/30比
登録	2,532	2,070	2,150	2,337	2,739	1,745	8.2
	133	108	36	107	128	65	▲3.8
撤回	875	875	987	1,028	1,034	590	18.2
	42	42	10	48	43	24	2.4
合計	3,407	2,945	3,137	3,365	3,773	2,335	10.7
	175	150	46	155	171	89	▲2.3
多重債務相談に占める登録件数シェア	36.4	33.0	48.5	46.7	52.2	59.4	43.4
	38.4	38.8	25.5	45.1	67.0	54.2	74.3

(協会受付分のみ)

③貸付自粛登録の申告理由

令和4年度登録件数の申告理由をみると「ギャンブル等を止められない」が最も多く、全体の44.5%を占めています。

ギャンブルの種類では、パチンコ・パチスロが873件(44.9%)で最も多く、次に競馬380件(19.5%)となっております。

本年度9月末現在におきましても、申告理由の特徴は、令和4年度と変わらず「ギャンブル等を止められない」が45%を占めており、この特徴は北海道も同じです。

	R05(9月末)	申告理由				その他(借金の防止、悪用防止、再登録など)
		ギャンブル	遊興費	買い物	その他	
全国	1745	797 45.7%	336 19.3%	279 16.0%	333 19.0%	
北海道	65	29 44.6%	13 20.0%	8 12.3%	15 23.0%	

(協会受付分のみ)

3 生活再建支援カウンセリング【令和4年度分】

(1) 受付状況

新規相談者68人、前年度からの繰り越した継続相談者36人、合計104人の相談者に対し、電話及びオンラインによるカウンセリングを460回(電話454回、オンライン6回)実施しています。

(2) 新規相談者の属性等について

新規相談者68人のうち債務者本人は49人(72.1%)、配偶者は10人(14.7%)、親族9人(13.2%)となっております。

年代別では、「債務者本人」は、30歳代が多く、「配偶者・親族」では、30歳代及び50歳代が多い状況でした。

債務の原因は、「買い物」15人(30.6%)、「ギャンブル癖」10人(20.4%)、「遊興費・飲食費・交際費」7人(14.3%)、「生活の補てん」6人(12.2%)などで、債務者本人の精算経験有無は、「清算あり」36人(73.5%)、「清算なし」13人(26.5%)で、約8割が再発している状況でした。

(3) 終了結果

令和4年度のカウンセリング修了者は51人。相談者の都合により中断した33人を除く18人全員に改善の結果確認ができました。改善の結果が確認できた修了者18人のうち、3人が当年度の新規相談者で、残り15人が前年度からの継続相談者でした。

カウンセリングの相談期間は概ね1年程度を目安としていますが、長い人で数年かかるケースもあります。

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		前年度対比			
	人数	相談回数	人数	相談回数	人数	相談回数	人数	相談回数	人数		相談回数	
									増減	増減率	増減	増減率
新規相談	41	160	40	156	35	135	68	263	33	94.3	128	94.8
継続相談	25	86	22	61	25	122	36	197	11	44.0	75	61.5
相談者合計	66	246	62	217	60	257	104	460	44	73.3	203	79.0